

山口県の新規就農者（自営就農者）の実態解明	
担 当	経営高度化研究室 尾崎篤史、西美弥子、高橋一興*
研究課題名 研究年度	山口県における新規就農者（自営就農者）の就農実態 、課題の解明 令和元年～4年

## 背 景

山口県は新規就農支援対策に注力しており、平成 27 年以降毎年 100 名以上が就農している。しかし、経営確立に苦労しているケースもあり、課題解明や効果的な支援策の構築が求められている。

## 目 的

新規就農者（以下、就農者）の確保・定着支援を効果的に行うため、就農者の募集から経営確立における実態・課題を明らかにし、その対策を検討する。

## 成 果

就農前～就農初期と経営確立期では、生じる課題や必要な支援策が異なる。各段階での対応は以下のとおりである。

- 1 「就農前～就農初期段階」では就農地域関係者の支援・協力が重要である。
  - (1) 独立自営就農者（以下、独立）確保における最重要事項は「農地確保」の支援である（図 1）。農地確保を円滑に行うためには、就農地域の「農地情報提供者」「地権者との仲介役」の存在が必要である（表 1）。
  - (2) 就農初期段階では「栽培技術習得」が課題となる（図 2）。就農者が地域の生産者に気軽に相談できる関係性を構築することが就農者の早期技術習得につながる。現地研修期間中の部会生産者訪問や、部会員全員での共同作業等、早い段階から両者が交流できる場を設けることが大切である。
  - (3) 未だ経営が確立していない就農者は、「集落のしきたり」や「地域づきあい」に負担を感じている（表 2）。就農者の負担軽減を図るには、経営が軌道に乗るまでは地域の役を回さない、最繁忙期は共同作業への出役を強要しない等、就農者受入に対する地域住民の理解を醸成することが重要である。
- 2 経営発展および規模拡大段階では経営的課題（労働力、時間管理、運転資金等）が重要となる（図 3、表 3）。ただ、就農者の経営状況によって必要な支援は多様であり、就農者自らが経営上の課題を理解していない場合もある。そのため、支援機関は就農者との対話を通じて課題を見極め、専門的な課題においては場合専門家派遣制度を提案する等の支援を行うことが必要である。

\* 現農林水産部農業振興課

図表

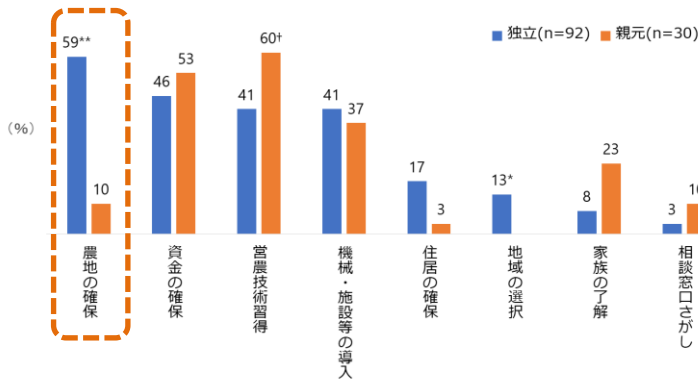


図1 就農時に苦労したこと (3つまで)

注)\*\*、†はカイ二乗検定により1%、10%水準で有意差あり

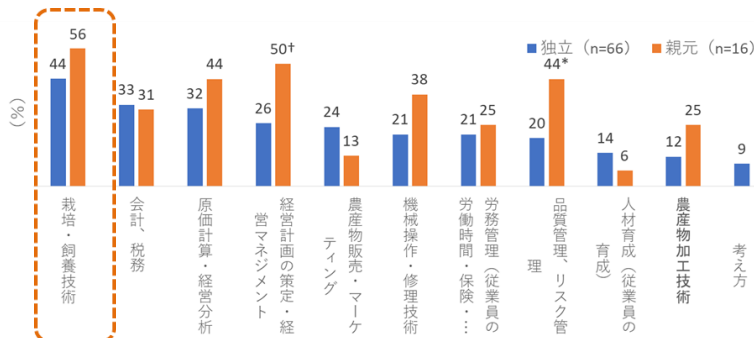


図2 就農前に学び足りなかったこと (複数回答)

注) \*、†はカイ二乗検定により5%、10%水準で有意差あり

表1 農地確保に関する課題と対策の整理

現状	就農支援上の課題	課題解決
優良農地は地域内で継承される	支援機関に集まる情報は、誰も継承しない条件不利地	優良農地の確保には地域内の農地情報に通じている者の協力が必要
地権者は知らない人に農地を預けたくない	就農者自身での農地確保は困難	就農者が農地を確保するためには地権者と話ができる仲介者の協力が必要

調査結果をもとに筆者作成

表2 生活面の課題

	件数			(% )			p値	判定
	全体	売上達成度70%未満	売上達成度70%以上	全体	売上達成度70%未満	売上達成度70%以上		
全体	88	36	45	100	100	100		
休暇がとれない	52	16	30	59.1	44.4	66.7	0.045	
健康不安(労働きつい)	47	21	20	53.4	58.3	44.4	0.214	
交通、医療等不向き	29	11	17	33.0	30.6	37.8	0.497	
就農地に友人が少ない	27	13	14	30.7	36.1	31.1	0.635	
子供の教育	20	9	9	22.7	25.0	20.0	0.591	
家族の理解・協力	17	8	8	19.3	22.2	17.8	0.618	
集落のしきたり	15	11	4	17.0	30.6	8.9	0.013*	
集落内人間関係	11	5	5	12.5	13.9	11.1	0.706	
地域つきあい多い	11	9	2	12.5	25.0	4.4	0.007*	
親・兄弟等の介護	11	5	6	12.5	13.9	13.3	0.942	
自分が地域になじめない	4	3	1	4.5	8.3	2.2	0.207	
配偶者・子供なじめない	3	2	1	3.4	5.6	2.2	0.430	
その他	1	0	0	1.1	0.0	0.0	-	

注) 「売上達成度」とは、生計成立状況と就農時に立てた農産物売上高目標の達成度のこと

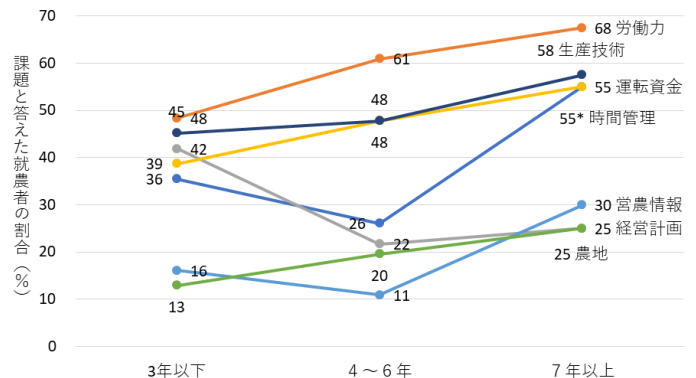


図3 経営面の課題と就農年数との関係

注1) 3年以下と7年以上で変化の大きい項目  
注2) \*、†はカイ二乗検定により5%、10%水準で有意差あり

表3 規模拡大に伴う課題の推移

就農者	雇用状況	規模拡大	規模拡大時の課題	
			課題	内容
A	未導入	未	農地確保	既存農家が離農しないと規模拡大できない
			時間管理	規模拡大に伴う栽培管理の遅れ
B	未導入	済	雇用導入	雇用導入したいが近隣に雇用できる人がいない 通年雇用できない(冬仕事ない)
			雇用管理	各作業における適正要員の判断
C	パート雇用済	未	人材育成	管理作業できる人材の育成
			雇用管理	雇用導入に伴う休憩所・トイレ整備
D	パート雇用済	済	人材育成	管理作業を人に任せるとか検討中
			経営分析	規模拡大・雇用導入の費用対効果の分析・判断
			税務	売上増に伴うインボイス対応
E	正社員雇用済	済	労務管理	労務管理事務が負担
			経営安定	人件費を賄える経営の黒字化・安定化

就農者への聞き取り調査結果をもとに筆者作成